

EU 支部長: 松原真実子 MATSUBARA Mamiko 国際文化研究専攻修了 修士論文『異文化間コミュニケーションの研究—フィードバック作用』

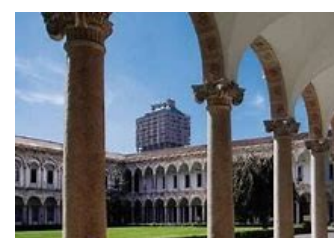
この号の内容

- 1 イタリア ベネチア、観光客に最大 1200 円の「訪問税」導入へ
- 2 イタリア ローマ市、歴史地区の「食べ歩き観光」禁止条例を施行
- 3 日本 金沢市で宿泊税開始 全国 4 例目の条例施行
- 4 EU 支部だより

- ・町の美観維持
- ・重要エリアの保護
- ・環境整備



- ・6 月カンファレンス
- ・仮想現実



イタリア ベネチア、観光客に最大1200円の「訪問税」導入へ

2019.01.04 Fri posted at 16:45 JST CNN

(CNN) イタリアの観光都市ベネチアはこのほど、同市を訪問した観光客から最大で10ユーロ(約1200円)の「訪問税」を徴収する方針を明らかにした。現在は宿泊客に対してだけ税を徴収していた。毎年約3000万人の観光客が訪れるベネチア市は、これまでも観光客が押し寄せてインフラに負担がかかり続ける事態への対応に苦慮している。昨年4月下旬からの大型連休では観光客の移動を規制するなどの対策も導入していた。ベネチアのブルニャーロ市長はツイッターへの投稿で新税の導入を発表。市のより良い管理や街の美観の維持、観光客へのより良いサービスの提供、住民の生活環境の改善などにつながると指摘した。徴収される税の金額は市を訪問する時期によって異なる。

イタリア ローマ市、歴史地区の「食べ歩き観光」禁止条例を施行

2012年10月10日14:43 発信地:ローマ/イタリア

【10月10日AFPBB News】「永遠の都(Eternal City)」として知られるイタリア・ローマ(Rome)を訪れる観光客の多くは、同市歴史地区の史跡付近で今後アイスクリームやパニーニ、ピザといったイタリア料理を楽しむことができないことを知ってがっかりするに違いない。ローマ市は今週、多くの遺跡や歴史的建造物の周辺での軽食を12月31日まで禁止する条例を施行した。「歴史地区内の重要エリアの保護」を目的としており、違反した観光客には25~500ユーロ(約2500~5万円)の罰金が科されるので注意が必要だ。対象となる史跡には、コロッセオ(Colosseum)やスペイン階段(Spanish Steps)、パンテオン(Pantheon)、そしてナボーナ広場(Piazza Navona)にある大理石製の噴水などが含まれる。イタリアではこのほか、ベネチア(Venice)でもサンマルコ広場での軽食が禁止されており、フィレンツェ(Florence)やボローニャ(Bologna)にも同様の条例がある。ベネチアのサンマルコ広場ではハトへの餌やりも禁止されている。

日本 金沢市で宿泊税開始 全国4例目の条例施行

2019年04月01日京都新聞

宿泊施設の利用者から1人当たり1泊最高500円を徴収する金沢市宿泊税条例が1日、施行された。東京都、大阪府、京都市に次いで全国4例目。市は年間約7億2千万円の増収を見込む。条例では、1人分の1泊の料金が2万円以上で500円、2万円未満なら200円を宿泊客から施設が徴収する。税収は公衆無線LANエリアの拡大といった観光客の受け入れ環境整備のほか、市内の渋滞緩和策などにも充てる。民泊も含む全宿泊施設が対象。しかし市によると、3月11日時点で約2割の施設が、市に特別徴収義務者の登録をしていない。宿泊税はほかに北海道倶知安町も導入を決めている。

EU 支部だより —ミラノ大学—

夫がミラノ大学で開催されるカンファレンスで講演を行うことになりました。開催は、令和元年6月21日の午前と午後の2回。テーマは、午前が「拡張現実と医療」、午後は「長命とビッグデータ」(松原訳)です。ミラノ大学は、1924年に設立され、62,901名の学生が学んでおり、学部は農学・芸術・哲学・法学・科学・医学・薬学・政治学・スポーツ・獣医学で、日本語教育にも熱心な大学です。今回、夫が以前出版した拡張現実の本と、ノルウエーでのAIと医療に関する仕事との関係から講演を依頼されたものらしいです。イタリアでも拡張現実の活用は多様な分野において非常に注目されています。例えば、体内の様子を3Dで表示したり、治療後の歯の様子を確認したりと、患者にも分かりやすい説明が可能となるなど多くのメリットが挙げられます。夫はこのようなメリットはもとより、さらに新たな切り口から、拡張現実について語る予定だそうです。ご興味のある方は是非ご参加ください。(松原)